



イーサリアム(ETH)の今後・将来性をわかりやすく解説

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/eth-future>

今回は[暗号資産\(仮想通貨\)](#)イーサリアム(ETH)の今後の将来性について、様々な特徴を踏まえて解説していきます。

[イーサリアム\(ETH\)](#)はビットコインとは違った特徴のある仮想通貨で、高い将来性から多くの投資家や経営者の方達に支持されています。結論から言いますと、イーサリアム(ETH)は今投資すべき注目のアルトコインです。イーサリアム(ETH)の今後の将来性を色々と考察していきます。本記事を見れば、イーサリアム(ETH)の今後や将来性についてバッチリと理解することができます！

これからは以下のようなことが高い確率で起きると思います。イーサリアム(ETH)に投資する方にとって非常に重要な内容になるので、チェックしていきましょう。



イーサリアム(ETH)の今後・将来性

- ① 大企業が続々と参入している
- ② ETFに上場する可能性がある
- ③ ライデンネットワークが実装される可能性がある
- ④ スマートコントラクトの実用化
- ⑤ アップデートが順調に進んでいる

① 大企業が続々と参入している

イーサリアム(ETH)のには、数々の有名企業が参入しています。そもそもイーサリアムには「イーサリアム企業連合(EEA)」という団体が存在しており、既に200以上の企業が名を連ねています！

「イーサリアム企業連合(EEA)」に加盟している企業:

- マイクロソフト
- JPモルガン
- トヨタグループ
- KDDI

上記以外にも、国内外問わずたくさんの企業が「イーサリアム企業連合」に加盟しています。加盟企業の中には日本を代表するような会社も存在しており、イーサリアムの信頼性の大きな担保となっていますね！

② ETFに上場する可能性がある

ETFにイーサリアム(ETH)が上場することになれば、多額の投資を受けることになり、価格が大きく上昇することが予測されます。

ETFとは上場投資信託の略です。仮想通貨取引所だけでなく、証券取引所に上場することになります。ETFが承認されることになれば、[仮想通貨取引所](#)だけでなく「証券取引所」にも上場することになります。ですので証券取引所からもイーサリアムに投資を行う人が増加し、価格が大きく高騰することが予測されるのです！

イーサリアム(ETH)の研究資金が豊富に増えることにより、今後様々なサービスがプラットフォーム上で生み出されていくことになるはずです。すでにイーサリアム(ETH)のETF上場申請は行っていますが、いまだに承認はされていません。もし承認されればイーサリアム(ETH)の価格に大きなインパクトを与えますので注目しておきましょう。

③ ライデンネットワークが実装される可能性がある

イーサリアム(ETH)には送金処理に時間がかかってしまうスケーラビリティ問題という課題があり、ライデンネットワークによって改善される可能性があります。

ライデンネットワークとは、イーサリアム(ETH)のブロックチェーンの外で時間のかかる処理を行い、送金処理の時間を大幅に短縮することができる技術です。

ライデンネットワークが実装されれば、送金速度はもちろん、送金手数料も安くなるので、よりイーサリアム(ETH)の実用性が高まることが大きく予想されます！

④ スマートコントラクトの実用化

スマートコントラクトの実用化は今後間違いなく発展していくはずです。

大企業が参加し、日々研究開発を行っていることや時代の流れから、送金や取引に時間がかからず、直接現金のやり取りを行わなくなるのは自然です。

現金取引がクレジットカードに変わり、電子マネー、仮想通貨などで取引をする流れは、ますます進んでいくでしょう。

⑤ アップデートが順調に進んでいる

イーサリアム(ETH)はまだ完全形態ではなく、アップデートを繰り返して機能を向上させています。

以下の4つのロードマップが存在しており、最終形態の「セレンティ」まで到達すると、事実上イーサリアムのアップデートは完了されたものになります。

イーサリアム(ETH)の4つのアップデート

1. フロンティア(Frontier)
2. ホームステッド(Homestead)
3. メトロポリス(Metropolis)
4. セレンティ(Serenity)

上記4つのアップデートのうち「メトロポリス」まではすでに完了しており、残すは最終アップデートの「セレンティ」のみとなっています。セレンティは「イーサリアム2.0」とも呼ばれている大型アップデートでして、当初は2020年1月に実行される予定でした。

しかしながら現在では遅延が生じており、まだアップデートは施行されていない状況です。セレンティが実行されれば、イーサリアムのコンセンサスアルゴリズムが「Proof of Stake」という方式に変更になり、より多くの人マイニングに参加することが可能になります。

【ほかの記事】

[イーサリアム\(ETH\)とは？その特徴や基本事項をわかりやすく解説](#)

[ビットコインキャッシュ\(BCH\)の機能を分かりやすく解説](#)

[ビットコイン\(BTC\)とは？その仕組みをわかりやすく解説](#)